

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	インベーター・ネオ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：INVADR NEO

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：DIFENDER

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

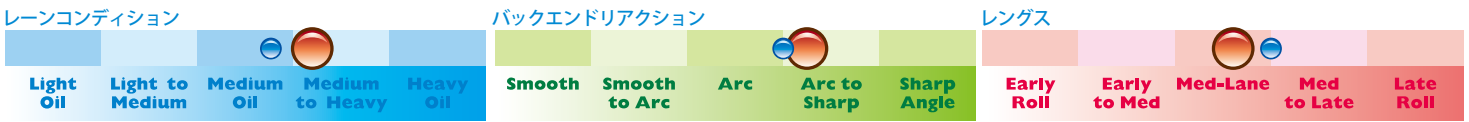
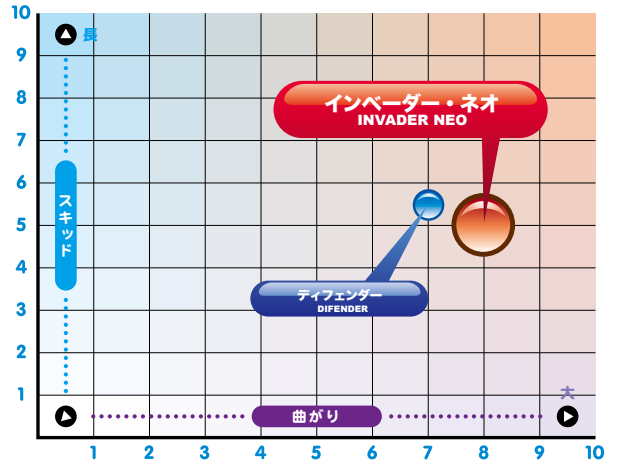
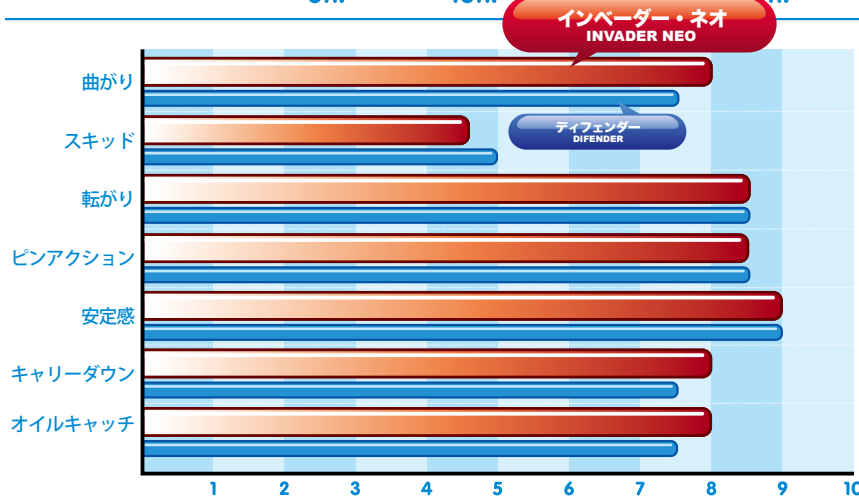
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

2014年7月ゴールドインベーターでインベーターシリーズは完結し、その後DEFENDERへとモデルチェンジしました。2015年5月に限定発売でリミテッドインベーターが発売されて早いもので1年半の歳月が流れようとしています。PRO-amモデルは100%日本完全監修によるInternational製品で、国内で吟味を重ね様々なPerformanceをこの世に送り出してきました。PRO-amモデルの最大の特徴はどの領域でもHookからRoll期いわゆる曲がり始めからピンヒットまでの動きの強さと鋭さと言っても良いでしょう。今回のINVADR NEOもCover StockからCore Technologyまで吟味を重ねた、生まれ変わったINVADR NEOを象徴するに相応しい出来栄えだと思えます。Cover Stockは走り系に属する配合のSolidを主原料として、ややキャッチを主体とした性質でも、ドライゾーンでもしっかりとメリハリ感の得る特徴のあるCover Stockです。今回のテストはRANGERを行いました。RANGERで出し戻しできないラインでINVADR NEOでポケットヒットできますし、オイルに対する安定感やMidlaneでの動きだし、Backend Motionの柔らかく、かつ鋭さは「INVADR NEO時代の再来」を予感させる仕上がりであるとABSボール開発チームが自信をもって発売に至っています。このPRP-amシリーズのボールはABSブランドでも「他のブランドにはない性能」を意識して作り上げています。特にBackendに曲がりのイメージを置きたい方はこのブランドのボールはまずはじめに候補にいれなければならないでしょう。INVADRシリーズが完結してあの当時の性能を待ち望んでいた方に自信をもってリリースできるものが仕上がりました。新生のINVADRシリーズですので、多くの皆様を使用して頂けたらと思います。

特記事項

INVADRシリーズがNEOとなり、新たなるINVADRの幕開けです。ABSブランドにはない、特にBackendの動きが特徴的でもあり個性です。